

# しおさいかわら版

## 初夢

### 2022年の年頭に立って



会長 小沼 郁彦

新年あけましておめでとうございます。2022年、令和4年の年が幕を開けました。昨年もコロナ禍で市民会議の活動も思うように進められない中でしたが、手探りでできることを見出し、次のまちづくりへの礎

を築いた一年でした。

まちづくりブランドデザインにおきましてはその内容をアクシオンプログラムに落とし込む作業が進み3月末にはそのまとめができそうです。また、アクアマリンパークファウンデーション(A.M.P.F.)によるアクアマリンパークの美化を進め、加えて海洋ごみ問題を子供たちと共に考える「海神ネプチューン大学」を開講し、4回の事業を通して学びを深めると共に、冬には「小名浜ブルー」を宣言葉に「海と水族館」をイメージさせるイルミネーションを設置、「クリスマスマーケット」を含めたイベントの開催で賑わいを創出し、そのエリアの付加価値アップを図りました。



快晴のアクアマリンパーク (イオンモールいわき小名浜屋上駐車場より)

小名浜は歴史ある港町です。小名浜港

発行所  
小名浜まちづくり  
市民会議  
TEL: 52-1275  
FAX: 52-1415  
発行日  
令和4年2月20日

の父と目される小野晋平翁の胸像のことも視野に入れた歴史を伝承する活動も行い、それらの活動を発信する会報紙(しおさいかわら版)の発行やWEBでの情報発信もしながら、もう一つの伝承方法でもあり市民会議の継続力を維持する力となる会員の増強にも取り組まれました。各種の活動に對しまして会員の皆様はもとより市民会議の活動をご支援頂いた皆様のご協力に心より御礼申し上げます。さて、2022年は「港まち・おなほまのブランドデザイン」の内容から落とし込まれた「アクシオンプログラム」を基盤に、私たちが見たいまちを創り上げていく為に、関係機関との連携の中でできることから具体的な活動に着手して参ります。公共交通に關することや既設公共施設のリノベーションを含む活用、更に、感染症の動向を注視しつつ夏と冬のイベントを連携させながら、アクアマリンパークへの来場者50万人を目指し、そのエリアの集客力向上を模索しながら新たな小名浜の見どころと賑わいづくりを進め

て参りたいと思います。市民会議も現在、個人会員100名、企業会員150名、団体会員10名の約260名で組織する団体に成長させていたできました。会員数はある意味では「想いを一つにする姿の見える化」です。異業種に携わる人の集合で、まちの未来像の多角化と具体化ができる「アイデア」と「行動力」の源泉だと思います。今まで以上に会員数を増加させ、より多くの皆さんの声をまちづくりに活かし、持続可能なまちづくり団体を目指して成長していきたいと思ひます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

## いわきサンマリナーの今

いわきサンマリナーは、震災前には100隻を超えるヨットなどが保管され、海洋レクリエーションの拠点として、関東を含めた周辺エリアでは有数のマリナーとして知られていました。しかし、東日本大震災の津波により、施設は甚大な被害を受け、船は流失したうえに運営会社は解散し、マリナーの継続は困難な状況となりました。県は平成28年までに、メ

## ヘルスケアアプリ「HELPO」の導入

いわき市では、市民の皆様の健康増進等を図るため、スマートフォンなどからいつでも医師や看護師等に相談でき、症状に応じた適切な医療機関の案内等もワンストップで提供されるヘルスケアアプリ「HELPO」を、本市の妊娠期にある方や未就学児のいる子育て世帯の方を対象に実証導入しましたので、ぜひご利用ください。詳しくはいわき市HPまで。



周辺緑地などを、災害復旧制度を活用して復旧しましたが、マリナーとしての再開を望む声が多いことなどから、一期整備として、給水給電施設や簡易な係留施設の整備に着手しました。また、管理運営は指定管理者により行われることとなります。このため、令和4年度よりボートやヨットの保管が可能となることから、マリナーを再開いたします。



上空からのいわきサンマリナー

福島県小名浜港湾建設事務所 企画調査課長 鈴木好美



小名浜クリスマスマーケット2021

昨年の12月18日(土)、19日(日)アクアマリンパーク小名浜美食ホテル駐車場と潮目交流館において「小名浜クリスマスマーケット2021」を開催しました。このイベントは小名浜まちづくり市民会議が、小名浜港1・2号埠頭のアクアマリンパークに年間を通して様々なイベントや交流人口の増加を促す催しを行ってありますが、課題であつた冬場のアクアマリンパークやまちなかに賑わいを創出するため、今回で3回目となる「クリスマスマーケット」を開催しました。冬季に特化したイベントを開催し定着させることで、震災前の交流人口25万人まで回復を図りたいと考えています。



▶オープニングに出演した白百合幼稚園の園児にプレゼントを渡す小沼会長



▲マーケット2日目は多くの人で賑わった

アクアマリンパークビックツリーについては一昨年同様8メートルのクリスマスツリーを設置し、令和3年11月20日(土)に点灯式を行い、12月26日(日)まで点灯しました。クリスマスマーケットは小名浜美食ホテルの駐車場と潮目交流館で開催し、30店舗近くの様々なお店が参加しました。メイン会場にはキッチンカーやテントでクリスマスらしいフードやグッズ、地元の名産などの販売が行われ、潮目交流館内ではハンドメイドや占いの店舗などが立ち並び、多くの人の行列ができました。

クリスマスライブは屋外のメインステージと潮目交流館内の二つのステージでライブや一般参加のゲームなどを行いました。白百合幼稚園児による聖歌隊、小名浜第一第二中学校の吹奏楽、トーンチャイムの演奏など様々なステージを行いました。マーケット初日にはライブの中でクリスマスツリーの点灯式も行い大いに盛り上がりました。フィナーレには大抽選会も行い終始賑やかで笑顔溢れるイベントとなりました。一昨年のマーケットでは一般参加者による制作体験のコーナーを設けましたが、今回はそれに加えて一般参加型のアトラクションもゲーム形式で行い、多くの方に楽しんで頂きました。また、クリスマスらしい遊具の設置は今行わず、小名浜ブルーを基調にしたイルミネーションの設置を行い好評を頂きました。今年度以降さらに増やしていきたいと考えています。



▲参加型イベントではクリスマスツリーの飾りつけを行った

連合会の会長を仰せつかっております。西町中央商店会で「ガレージさかも」という自動車修理工場を営んでいます。当商店連合会については、昭和29年の創立で今年68年目を迎えます。いわゆる本町通り沿いに位置した商店会である中島・銀座・西町・西町中央の4つの商店会で組織されており、小名浜地区の中心として今まで続いてきている地域ですが、高齢化や時代のニーズの多様化、細分化で商売を続けていく環境は厳

は大寒波が到来し、二年連続の強風によるテナントの破損で開催が危ぶまれましたが、予定通り開催出来ました。初日は低温と強風で来場者はやや少ないようでしたが、2日目の日曜日は天候が回復し温かかったこともあり多くの方々に来場して頂きました。今後はもっと多くの地元の方々の参加のもと、地域にさらなる経済効果があるよう検討し進めていきたいと考えています。



会長 坂本 勝吉 3年度 令和より小名浜地区商店会

小名浜商店連合会 新会長あいさつ

しくなってきたというのが現状です。しかしながら、お客様に必要とされる限り商売は維持していけるものと信じ、私自身も親子で頑張っております。会長となつて、自分では商店会に目を向けてもらえないような地域密着型のイベントをやってみたいと思っております。その一方で、新型コロナウイルスの感染拡大で、商売自体が思うようにいかないのが現状です。終息時に向けてイベントが出来る準備を進めておければと考えています。商売も商店連合会も、長続きさせるには町の魅力と同時に高めていく必要があると思えます。小名浜まちづくり市民会議や関係団体と一緒に歩を進めていきたいと思えますので、今後とも小名浜地区商店連合会をよろしくお願いたします。



▲2日目に行われた大抽選会は大いに賑わった

小名浜まちづくり市民会議とは...

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。

随時FBに活動状況をアップしています。見つけたらぜひ、いいね！してください。



小名浜まちづくり市民会議では随時、会員募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんと一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか？ 年会費 個人会員：3000円 企業会員：20,000円 団体会員：12,000円 お問い合わせ・お申し込みは：いわき市小名浜字本町 11-1 (まちづくりステーション小名浜) TEL：52-1275 FAX：52-1415 http://www.onahama.jp/ E-mail：info@onahama.jp